

授 業 科 目 名	保健体育科教育法概論I (Introduction to Teaching Method for Health and Physical Education I)		
科 目 番 号	9468101	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・2 時限
対象学群・学類			
担当教員(連絡先)	野津 有司		
オフィスアワー			
授業の到達目標	すぐれた授業観の育成を目指すとともに、「保健」の教育内容及び指導方法に関する基本的な事項の理解を図り、保健授業の実践的な能力を高める。		
授業の概要	保健科教育の目標、内容、方法および評価について、保健授業の課題と関連づけながら講述する。		
授 業 計 画	第1回 保健科教育の位置付け 第2回 保健科教育の内的・外的条件 第3回 保健授業の指導意欲 第4回 保健授業における指導力 第5回 「保健」の担当教師に求められる専門性 第6回 「保健」の担当教師に求められる授業観 第7回 保健科教育の目標および内容 第8回 保健科教育の学力と評価方法 第9回 保健授業の指導方法の工夫、保健授業における効果的な情報機器及び教材の活用方法 第10回 保健授業の実際と学習指導案 定期試験		
成績評価方法	レポート、筆記試験		
テ キ ス ト	文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)		
参 考 文 献	1) 教員養成系大学保健協議会編: 学校保健ハンドブック(第6次改訂), ぎょうせい, 2014 2) 文部科学省: 小学校学習指導要領解説体育編, 東洋館出版社, 2017 3) 日本学校保健会: 新学習指導要領に基づくこれからの小学校保健学習, 新学習指導要領に基づくこれからの中学校保健学習, 思考力の育成を重視したこれからの高等学校保健学習, 2009 4) 日本学校保健会: 保健学習の指導と評価(小学校編, 中学校編, 高等学校編), 2015 5) 森昭三, 和唐正勝編: 新版保健の授業づくり入門, 大修館書店, 2002		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備 考			

授 業 科 目 名	保健体育科教育法概論 II (Introduction to Teaching Method for Health and Physical Education II)		
科 目 番 号	9469101	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・1、2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	三田部 勇(mitabe.isamu.gm@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	1) 教員の養成・採用・研修システムと教育実習の位置づけについて理解することができる。 2) 体育科の目標と学習評価について理解することができる。 3) 中学校並びに高等学校の保健体育の学習指導要領の内容について理解することができる。 4) 指導計画の作成と内容の取扱いについて理解することができる。		
授 業 の 概 要	教員の養成・採用・研修システムと教育実習の位置づけ、体育科の性格、目標、指導内容、指導計画などに関する基本的な知識について理解する。概論 II では、学習指導要領について取り上げ、中学校及び高等学校における保健体育の指導内容に焦点を当てる。		
授 業 計 画	第 1 回 教員の養成・採用・研修システムと教育実習の位置づけ、体育科の目標と学習評価(担当: 三田部 勇) 第 2 回 体づくり運動の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 3 回 器械運動の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 4 回 陸上運動の指導内容と授業づくり、 体育授業における効果的な情報機器及び教材の活用方法(担当: 三田部 勇) 第 5 回 球技の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 6 回 水泳の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 7 回 武道の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 8 回 ダンスの指導内容と授業づくり、 体育授業における効果的な情報機器及び教材の活用方法(担当: 三田部 勇) 第 9 回 体育理論の指導内容と授業づくり(担当: 三田部 勇) 第 10 回 指導計画の作成と内容の取扱い(担当: 三田部 勇) 定期試験		
成 績 評 価 方 法	2/3 以上の出席者に対して試験を実施する。試験においては、授業の内容の理解度を評価する。		
テ キ ス ト	文部科学省(2017) 中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 保健体育編 東山書房 文部科学省(2018) 高等学校校学習指導要領(平成 30 年告示)解説 保健体育編・体育編 東山書房		
参 考 文 献	文部科学省(2017) 小学校学習指導要領解説 体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm)(2017.7) 文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2018) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm) (2018.7) 岡出美則他編(2011) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	文部科学省のホームページにアクセスして、学習指導要領解説書について熟読する。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	教育実習前に、中学校及び高等学校の保健体育科で指導する内容について、しっかり理解しておくことが重要である。前向きな受講態度を期待したい。		
備 考			

授 業 科 目 名	保健体育科教育法概論 III(Introduction to Teaching Method for Health and Physical Education III)		
科 目 番 号	9470001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	金曜・2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	長谷川 悦示(hasegawa.etsushi.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>1)保健体育の教師として授業を計画、実施していくために必要な資質、能力並びに基礎的知識、技能について理解することができる。</p> <p>2)中学校並びに高等学校の保健体育の学習指導要領の内容について理解することができる。</p> <p>3)カリキュラム、単元、授業、教材、教師行動、学習過程、学習指導方略の概念について理解することができる。</p> <p>4)教師の組織的観察法について理解し、実際にそれを正しく用いることができる。</p>		
授 業 の 概 要	体育科の性格、目標、カリキュラム、学習内容、教材づくり、学習指導などに関する基本的な知識について理解する。概論Ⅱでは、カリキュラム論を主にとりあげ、教材・授業案づくりを内容とする。		
授 業 計 画	<p>第 1 回 専門職としての体育教師</p> <p>第 2 回 すぐれた体育授業とは、四大教師行動、授業場面記録</p> <p>第 3 回 体育教師の知識構造、反省的教授</p> <p>第 4 回 熟練教師と教育実習生の授業</p> <p>第 5 回 教師の相互作用行動、フィードバックの役割</p> <p>第 6 回 学習指導モデル、学習過程、学習組織、学習評価</p> <p>第 7 回 チャレンジ運動モデル実践</p> <p>第 8 回 戦術学習モデル実践</p> <p>第 9 回 スポーツ教育モデル実践</p> <p>第 10 回 技能の上達過程、動機づけ理論、教育実習に備えて</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	2/3 以上の出席者に対して試験を実施する。試験においては、授業の内容の理解度を評価する。		
テ キ ス ト	高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店:東京		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2017) 小学校学習指導要領解説 体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm)(2017.7)</p> <p>文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm)(2017.7)</p> <p>文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm)(2010.1.18)</p> <p>高橋健夫編(2003) 体育授業を観察評価する. 明和出版</p> <p>岡出美則他編(2011) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍</p> <p>高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

授 業 科 目 名	体育理論の授業づくり(Making Lesson plan in Theory of Physical Education)		
科 目 番 号	9485001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・4、5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育専門学群		
担当教員(連絡先)	宮崎 明世		
オフィスアワー	月曜 11:30-12:00、木曜 11:30-12:15		
授業の到達目標	体育科教育の教科内容論とは何かについて、体育理論の個別の教科内容領域に即して理解する。 中学校・高等学校の体育理論の授業を組み立てることができるようになる。		
授業の概要	学習指導要領上の体育理論の位置づけを理解するとともに、提供される授業をもとに、体育理論の授業の指導案を作成する。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション・体育理論の授業とは 第 2 回 体育理論の位置づけとその内容評価規準を踏まえた指導案を作成する 第 3 回 スポーツの歴史、文化的特徴や現代スポーツの特徴 第 4 回 文化としてのスポーツの意義 運動やスポーツの多様性 第 5 回 運動やスポーツの技能の上達過程 第 6 回 運動やスポーツの技能と体力の関係 第 7 回 運動やスポーツの技術と技能 第 8 回 スポーツと環境 第 9 回 提供された授業を踏まえた指導案の作成 第 10 回 作成した指導案による模擬授業と相互評価、まとめ 定期試験は行わない。		
成績評価方法	指導計画に関するレポート、模擬授業 出席回数が 2/3 以下は、レポート採点の対象外とする。		
テキスト	高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店:東京 岡出美則他編(2010) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍		
参考文献	1)佐藤豊他(2011)楽しい体育理論の授業をつくろう、大修館書店 2)高橋健夫他(編)(2002) 体育科教育学入門. 大修館書店 3)文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 4)文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)		
授業外における学習方法	学習内容に関する書籍の購読や時事問題に関する情報収集。		
受講学生に望むこと	3 年生までに体育専門学群で学んだ専門的な知識を活かした授業づくりを進めます。教材に関する知識を日頃から身に付けるように心がけてください。		
備 考			

授 業 科 目 名	アダプテッド体育授業理論・実習 (Practice of Adapted Physical Education)		
科 目 番 号	9486001	授 業 形 態	講義・実習
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	通年	曜 時 限	随時
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則		
オ フ ィ ス ア ウ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<p>アダプテッド体育の視点を持った体育授業づくりのための理論と実践力を身につける。</p> <p>1 アダプテッド体育・スポーツの意義を説明することができる。</p> <p>2 生徒の運動特性に応じた指導方法を具体的に実践することができる。</p> <p>3 インクルーシブ体育の視点から体育授業を考案することができる。</p>		
授 業 の 概 要	特別支援教育諸学校の体育指導の実際を知り、その指導法について学び、指導計画の立案をする。		
授 業 計 画	<p>オリエンテーションで提示するいくつかの実習のうち、希望するものに参加し、授業見学や参加、指導補助を行う。ただし、各実習とも定員が定められているため、希望通りにならないこともある。</p> <p>第1回 オリエンテーション、実習希望調査【オリエンテーション欠席者の受講は認めない】</p> <p>第2回 事前指導 対象者の理解 実習ごとに実施する(掲示を確認すること)</p> <p>第3回 事前指導 実習課題の設定 実習ごとに実施する(掲示を確認すること)</p> <p>第4回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第5回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第6回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第7回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第8回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第9回 実習(特別支援学校体育授業、陸上競技大会、自然体験学習、小・中学校の体育授業等)</p> <p>第10回 まとめ、実習報告</p> <p>定期試験は行わない。</p>		
成 績 評 価 方 法	実習への取り組みならびに実習報告の内容を総合して評価する。		
テ キ ス ト	使用しない。		
参 考 文 献	<p>藤田紀昭・齊藤まゆみ 編著(2017)これからのインクルーシブ体育・スポーツ―障害のある子どもたちと一緒に楽しむための指導. ぎょうせい.</p> <p>齊藤まゆみ 編著(2018)教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学. 大修館書店.</p> <p>中学校学習指導要領解説 保健体育編(平成 29 年 7 月)</p> <p>高等学校学習指導要領解説 保健体育編(平成 30 年 7 月)</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成 29 年 4 月告示)</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	体育専門学群生対象、3 年次以上に限る。5 月以降にオリエンテーションと希望調査を実施する。受け入れ先ごとに日程が異なる。		

授 業 科 目 名	体育授業理論・実習 I (Theory and Field Study in Physical Education I)		
科 目 番 号	9487001	授 業 形 態	講義・実習
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	火曜・5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	長谷川 悦示(hasegawa.etsushi.fu@u.tsukuba.ac.jp), 宮崎 明世(miyazaki.akiyo.gb@u.tsukuba.ac.jp), 三田部 勇(mitabe.isamu.gm@u.tsukuba.ac.jp), 齋藤 拓真(saito.takuma.gn@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり、模擬授業の実習を通して実践的な能力を習得する。具体的には、次の4つの学習を課題とする。①体育授業を実施するために必要な最低限の知識を獲得する。②マイクロティーチング、模擬授業などの実習形式で、授業を経験する。③教師、生徒、観察者の役割として授業を組織的観察法により分析・評価する。④分析・評価のデータに基づいて省察(リフレクション)する。⑤ リフレクションをもとに単元計画及び指導案の最終検討を行い、その中に体育授業における効果的なICT機器の活用場面を設定する。		
授 業 の 概 要	定員 160 名で、1クラス 40 名の4クラスで展開する。前半は、授業グループごとに模擬授業の指導計画を作成する。後半は、模擬授業の実施と、e-Learning 模擬授業評価システムによる授業評価・省察を行う(その評価と省察は即時的フィードバックされる)。最終反省会では、それらのデータを基に授業省察をグループで討議して、改訂指導案を作成する。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第 1 回 筑波大学における体育教師教育の概要、グループ編成、指導案作成①:単元計画の構想</p> <p>第 2 回 指導案作成②:単元計画の作成、本時の目標・内容の検討</p> <p>第 3 回 指導案作成③:本時の目標とパートごとの授業案の作成</p> <p>第 4 回 指導案作成④:修正指導案の検討、必要な施設・用具の確認</p> <p>第 5 回 指導案作成⑤:最終指導案の作成・提出</p> <p>第 6 回 模擬授業①体づくり運動等:体育施設での授業実施、授業評価システム①:授業評価・省察の作成</p> <p>第 7 回 模擬授業②器械運動等:体育施設での授業実施、授業評価システム②:授業評価・省察の作成</p> <p>第 8 回 模擬授業③陸上競技等:体育施設での授業実施、授業評価システム③:授業評価・省察の作成</p> <p>第 9 回 模擬授業④球技等:体育施設での授業実施、授業評価システム④:授業評価・省察の作成</p> <p>第 10 回 模擬授業⑤武道等:体育施設での授業実施、授業評価システム⑤:授業評価・省察の作成</p> <p>定期試験(最終検討会:改訂指導案の検討・提出、効果的な ICT 機器の活用についての例示)</p>		
成 績 評 価 方 法	指導案作成、模擬授業事前チェック、模擬授業省察課題、映像視聴課題、最終レポートのすべての学習課題に合格した者に単位を認定する。		
テ キ ス ト	高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店:東京 岡出美則他編(2010) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍		
参 考 文 献	高橋健夫編(2003) 体育授業を観察評価する. 明和出版 文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	教育実習参加を希望するものは、実習前に必ず履修するようにしてください。		

授 業 科 目 名	体育授業理論・実習 I (Theory and Field Study in Physical Education I)		
科 目 番 号	9487101	授 業 形 態	講義・実習
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	火曜・5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	長谷川 悦示(hasegawa.etsushi.fu@u.tsukuba.ac.jp), 宮崎 明世(miyazaki.akiyo.gb@u.tsukuba.ac.jp), 三田部 勇(mitabe.isamu.gm@u.tsukuba.ac.jp), 齋藤 拓真(saito.takuma.gn@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり、模擬授業の実習を通して実践的な能力を習得する。具体的には、次の4つの学習を課題とする。①体育授業を実施するために必要な最低限の知識を獲得する。②マイクロティーチング、模擬授業などの実習形式で、授業を経験する。③教師、生徒、観察者の役割として授業を組織的観察法により分析・評価する。④分析・評価のデータに基づいて省察(リフレクション)する。⑤ リフレクションをもとに単元計画及び指導案の最終検討を行い、その中に体育授業における効果的なICT機器の活用場面を設定する。		
授 業 の 概 要	定員 160 名で、1クラス 40 名の4クラスで展開する。前半は、授業グループごとに模擬授業の指導計画を作成する。後半は、模擬授業の実施と、e-Learning 模擬授業評価システムによる授業評価・省察を行う(その評価と省察は即時的フィードバックされる)。最終反省会では、それらのデータを基に授業省察をグループで討議して、改訂指導案を作成する。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第 1 回 筑波大学における体育教師教育の概要、グループ編成、指導案作成①:単元計画の構想</p> <p>第 2 回 指導案作成②:単元計画の作成、本時の目標・内容の検討</p> <p>第 3 回 指導案作成③:本時の目標とパートごとの授業案の作成</p> <p>第 4 回 指導案作成④:修正指導案の検討、必要な施設・用具の確認</p> <p>第 5 回 指導案作成⑤:最終指導案の作成・提出</p> <p>第 6 回 模擬授業①体づくり運動等:体育施設での授業実施、授業評価システム①:授業評価・省察の作成</p> <p>第 7 回 模擬授業②器械運動等:体育施設での授業実施、授業評価システム②:授業評価・省察の作成</p> <p>第 8 回 模擬授業③陸上競技等:体育施設での授業実施、授業評価システム③:授業評価・省察の作成</p> <p>第 9 回 模擬授業④球技等:体育施設での授業実施、授業評価システム④:授業評価・省察の作成</p> <p>第 10 回 模擬授業⑤武道等:体育施設での授業実施、授業評価システム⑤:授業評価・省察の作成</p> <p>定期試験(最終検討会:改訂指導案の検討・提出、効果的な ICT 機器の活用についての例示)</p>		
成 績 評 価 方 法	指導案作成、模擬授業事前チェック、模擬授業省察課題、映像視聴課題、最終レポートのすべての学習課題に合格した者に単位を認定する。		
テ キ ス ト	高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店:東京 岡出美則他編(2010) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍		
参 考 文 献	高橋健夫編(2003) 体育授業を観察評価する. 明和出版 文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	体育授業理論・実習 II (Theory and Field Study in Physical Education II)		
科 目 番 号	9488001	授 業 形 態	講義・実習
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	火曜・5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	長谷川 悦示(hasegawa.etsushi.fu@u.tsukuba.ac.jp), 宮崎 明世(miyazaki.akiyo.gb@u.tsukuba.ac.jp), 三田部 勇(mitabe.isamu.gm@u.tsukuba.ac.jp), 齋藤 拓真(saito.takuma.gn@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり、模擬授業の実習を通して実践的な能力を習得する。具体的には、次の4つの学習を課題とする。①体育授業を実施するために必要な最低限の知識を獲得する。②マイクロティーチング、模擬授業などの実習形式で、授業を経験する。③教師、生徒、観察者の役割として授業を組織的観察法により分析・評価する。④分析・評価のデータに基づいて省察(リフレクション)する。		
授 業 の 概 要	1クラス 40 名の3クラス体制で展開する。前半は、授業グループごとに模擬授業の指導計画を作成する。後半は、模擬授業の実施と、e-Learning 模擬授業評価システムによる授業評価・省察を行う(その評価と省察は即時的フィードバックされる)。最終反省会では、それらのデータを基に授業省察をグループで討議して、改訂指導案を作成する。		
授 業 計 画	第 1 回 筑波大学における体育教師教育の概要、グループ編成、指導案作成①: 単元計画の構想 第 2 回 指導案作成②: 単元計画の作成、本時の目標・内容の検討 第 3 回 指導案作成③: 本時の目標とパートごとの授業案の作成 第 4 回 指導案作成④: 修正指導案の検討、必要な施設・用具の確認 第 5 回 指導案作成⑤: 最終指導案の作成・提出 第 6 回 模擬授業①体づくり運動等: 体育施設での授業実施、授業評価システム①: 授業評価・省察の作成 第 7 回 模擬授業②器械運動等: 体育施設での授業実施、授業評価システム②: 授業評価・省察の作成 第 8 回 模擬授業③陸上競技等: 体育施設での授業実施、授業評価システム③: 授業評価・省察の作成 第 9 回 模擬授業④球技等: 体育施設での授業実施、授業評価システム④: 授業評価・省察の作成 第 10 回 模擬授業⑤武道等: 体育施設での授業実施、授業評価システム⑤: 授業評価・省察の作成 定期試験(最終検討会: 改訂指導案の検討・提出)		
成 績 評 価 方 法	指導案作成、模擬授業事前チェック、模擬授業省察課題、映像視聴課題、最終レポートのすべての学習課題に合格した者に単位を認定する。		
テ キ ス ト	高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店: 東京 岡出美則他編(2010) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍		
参 考 文 献	文部科学省(2017) 小学校学習指導要領解説 体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm)(2017.7) 文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18) 高橋健夫編(2003) 体育授業を観察評価する. 明和出版 授業外における学習方法 教材研究、授業計画案を各自が予習・復習し、提出する。授業グループごとに討議・リハーサルを行う。ネット環境下で e-Learning 授業評価システムを活用して授業評価・省察を作成する(平均 90 分程度)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			

備	考 体育授業理論・実習 I の単位を修得済みであること。
---	------------------------------

授 業 科 目 名	体育授業理論・実習 III (Theory and Field Study in Physical Education III)		
科 目 番 号	9489001	授 業 形 態	講義・実習
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	随時
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	宮崎 明世(miyazaki.akiyo.gb@u.tsukuba.ac.jp), 長谷川 悦示(hasegawa.etsushi.fu@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	大学の体育実技の指導補助、観察記録などを通して、体育授業の実際を経験し、体育の授業を行う実践的な能力を培う。		
授 業 の 概 要	大学の体育実技の授業に 1 名または少人数を配置し、指導補助、観察記録などを行う。毎回の授業で学習したことを記録し、学期末の体験報告会で共有する。		
授 業 計 画	<p>第 1 回 オリエンテーション 共通体育の理念と内容、選択方法 (第 2-9 回は担当種目の内容による)</p> <p>第 2 回 基礎的な技能・態度の指導法</p> <p>第 3 回 基礎的な技能・態度の指導法と応用</p> <p>第 4 回 チーム作りと人間関係づくりの指導</p> <p>第 5 回 戦術学習とチームにおける活用の指導</p> <p>第 6 回 戦術学習とチームでの展開</p> <p>第 7 回 チームの関係づくりと主体的な活動計画の指導</p> <p>第 8 回 ゲームの進め方と楽しみ方の指導</p> <p>第 9 回 ゲームの進め方と発展のさせ方</p> <p>第 10 回 体験報告会</p> <p>定期試験は行わない。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>1)事前のオリエンテーションに参加する。</p> <p>2)授業での参加状況(技能、態度)(70 点)</p> <p>3)提出物(レポート等)の期限内の提出とその内容(30 点)。</p>		
テ キ ス ト	<p>高橋健夫他編(2010) 体育科教育学入門. 大修館書店:東京</p> <p>岡出美則他編(2010) ビジュアル新しい体育実技. 東京書籍</p>		
参 考 文 献	<p>文部科学省(2017) 小学校学習指導要領解説 体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm)(2017.7)</p> <p>文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7)</p> <p>文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)</p> <p>高橋健夫編(2003) 体育授業を観察評価する. 明和出版</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	体育授業理論・実習 I 及び II の単位を修得済みであること。		

授 業 科 目 名	保健授業理論・実習 (Theory and Practice of School Health Education)		
科 目 番 号	9490001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	野津 有司		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	実際の保健授業の場面を想定して、指導のあり方や教材づくりについて理解を深め、実践的な能力を身につける。		
授 業 の 概 要	保健科教育の授業づくりに必要な基礎的な知識や考え方を解説する。また、教材づくりや指導計画づくり等の実習を行う。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第 1 回 保健の授業づくりの考え方(1) ねらい, 内容</p> <p>第 2 回 保健の授業づくりの考え方(2) 授業成立の要素, 授業のパターン</p> <p>第 3 回 保健の教材づくりの考え方(1) 意図, 適切性, 発達段階</p> <p>第 4 回 保健の教材づくりの考え方(2) 教材化, 教具</p> <p>第 5 回 保健の授業づくりの実際(1) 学習内容</p> <p>第 6 回 保健の授業づくりの実際(2) 授業展開における位置付け</p> <p>第 7 回 保健の授業づくりの実際(3) 情報収集, 教材研究</p> <p>第 8 回 模擬授業(1) 導入</p> <p>第 9 回 模擬授業(2) 展開, 発問</p> <p>第 10 回 相互評価, まとめ</p> <p>期末試験は行わない。</p>		
成 績 評 価 方 法	授業内の課題およびレポートにより総合的に評価する。		
テ キ ス ト	<p>文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7)</p> <p>文部科学省(2009) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm) (2010.1.18)</p>		
参 考 文 献	<p>1) 日本学校保健会: 新学習指導要領に基づくこれからの小学校保健学習, 新学習指導要領に基づくこれからの中学校保健学習, 思考力の育成を重視したこれからの高等学校保健学習, 2009</p> <p>2) 日本学校保健会: 保健学習の指導と評価(小学校編, 中学校編, 高等学校編), 2015</p> <p>3) 森昭三, 和唐正勝編: 新版保健の授業づくり入門, 大修館書店, 2002</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考	保健体育科教育法概論 I の単位修得者に限る。		

授 業 科 目 名	保健体育科(体力づくり運動)指導法(Method of Teaching Health and Physical Education(Fitness Exercise))		
科 目 番 号	W170011	授 業 形 態	
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	1年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	火曜・1、2時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	西嶋 尚彦(nishijima.taka.fw@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	食事,メディカル,メンタルのチェック法,筋力・パワー,持久力,柔軟性・調整力などの体ほぐし運動および体力づくり運動のトレーニング・指導法,ならびに体力・運動能力,形態の測定方法,データ活用法などを学習する.		
授 業 の 概 要	体育専門学群における主体的な問題解決能力を育成するための実習である.9種類の実習をから各自のデータを収集することを通して,PDCA サイクルを活用して,4年間での競技力向上や体格・体力・運動能力の向上方法について考える.		
授 業 計 画	第1回 オリエンテーション(担当:西嶋 尚彦),実習Ⅰ 食事チェック法(担当:麻見 直美ほか) 第2回 実習Ⅱ メディカルチェック法(担当:向井 直樹ほか) 第3回 実習Ⅲ メンタルチェック法 (担当:坂入 洋右ほか) 第4回 実習Ⅳ 形態計測法(担当:足立 和隆ほか), 実習Ⅴ 柔軟性・調整力トレーニング法(本谷 聡ほか) 第5回 実習Ⅵ 筋力・パワートレーニング法Ⅰ (担当:谷川 聡ほか) 第6回 実習Ⅶ 筋力・パワートレーニング法Ⅱ(担当:木越 清信ほか) 第7回 実習Ⅷ 持久力トレーニング法(担当:榎本 靖士ほか) 第8回 実習Ⅸ 体力・運動能力測定法(担当:小野 誠司ほか) 第9回 実習Ⅹ データ活用法(担当:西嶋 尚彦ほか) 第10回 まとめ(担当:西嶋 尚彦ほか) 定期試験は行わない。		
成 績 評 価 方 法	課題提出により評価する。		
テ キ ス ト	筑波大学体育専門学群編, 保健体育科(体力づくり運動)指導法		
参 考 文 献	文部科学省(2017) 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm) (2017.7) 文部科学省(2018) 高等学校校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm) (2018.7)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	実習内容を各自のトレーニング生活で実践し,生活行動とトレーニング方法を改善し,成果を確認する.継続して,新しい課題を発見し,解決方法を工夫・改善していく。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	実技実習なので,シューズ,ウェア,そして体調を整えて授業を受講する。		
備 考			